

木口木版画講座

講師 鬼塚満壽彦、中野彰久
全6日間

木口（こぐち）とは立木を輪切りにした切り口のことです。木口は縦引きした切り口（板目）より堅いので、木口木版画は彫刻刀ではなくビュランを使い、鋭く無数の線を彫り細密な画面を描くのが特徴です。

永年木口木版画の普及に努めてこられた先生方は受講生の習熟度や作品に応じたご指導をなさり、講座は静かで和やかな雰囲気の中で行われます。



鬼塚満壽彦先生



先生の版木と作品



中野彰久先生（左）



ビュランで彫ります



会員作品展をお楽しみに！